NEWS　RELEASE

2026 年 11 月 25 日（水）

報道関係者各位

https://www.hakubaku.co.jp/

【即ご掲載可能】豊富な宣材画像をご用意しております　/　【取材申込受付中】社長への取材可能！

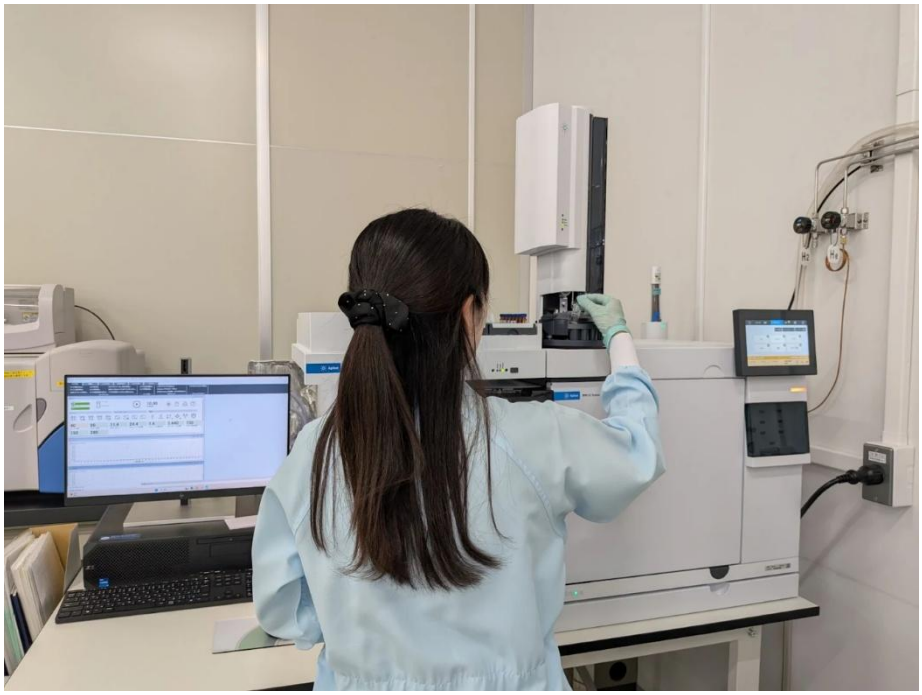
「主食改革」のはくばく、
残留農薬分析設備を刷新し品質保証体制を強化

～大麦雑穀市場拡大と産地多様化を見据え、食の安全を牽引～

『主食改革』を提唱する穀物のリーディングカンパニー、株式会社はくばく（本社：山梨県中央市、代表取締役社長：長澤 重俊、以下はくばく）は、大麦・雑穀をはじめとする「米関連市場」が約 199 億円、前年 106.2%と着実に拡大している背景※1 を受け、将来的な需要増と安定供給に向けた「調達産地の拡大・多様化」を進めています。こうした中、いかなる産地の原料であっても絶対的な「安全・安心」を担保するため、自社品質保証部門の残留農薬分析設備を刷新。2026 年度より最新鋭の機器を用いた新体制での運用を本格開始しました。

今回、最新鋭の質量分析計 GC-MS/MS（アジレントテクノロジー: 7000E トリプル四重極）の新規導入により調達網の多角化に伴う農薬リスクを原料受入段階から迅速・網羅的にスクリーニングするとともに、加工・濃縮工程を経てもなお安全であることを科学的に立証できる強固な品質保証基盤を構築。はくばくでは、日々の基本食となる穀物だからこそ、お客様の安全と安心を第一に、徹底した品質管理とその向上に努めてまいります。

※1 :インテージ SRI+:マーケットサイズ(金額):2025 年度(4～3 月)



■ 背景：大麦市場の拡大と、産地多様化に伴う「品質安定・安全性担保」の両立

1. 拡大を続ける米関連市場

健康志向の高まりや食物繊維への関心、近年のコメを取り巻く環境変化を受け、大麦（もち麦・押麦）や雑穀などの米関連市場はこの 10 年間で約 1.9 倍に伸長し、約 200 億円規模へと成長を続けています※1。家庭用もち麦市場においても前年比 107.9%の成長を見せる※1 など、日常の主食としての定着が急速に進んでいます。

2. 供給責任を果たすための「産地拡大」と、それに伴う品質管理の高度化

国内トップシェア企業として今後のさらなる需要増に応え、また気候変動や地政学リスクに対応した安定供給を維持するためには、国内外における新たな生産地の開拓と調達網の多様化が不可欠です。

一方で、調達産地の拡大は、地域ごとに異なる気候条件、栽培慣行、農薬使用実態への対応を意味します。当社は、「どの産地の原料であっても、最終製品としてバラつきのない高い品質と絶対的な安全性を担保する」という食品メーカーとしての責任を果たすため、調達段階から迅速・高精度にチェックできる分析体制の抜本的強化に踏み切りました。

■ 新規導入設備概要

・GC-MS/MS：アジレント・テクノロジー社製「7000E トリプル四重極」

■ 導入効果：3 つの品質保証レベル向上

1. 一律基準（0.01ppm）を下回る極微量分析による誤判定ゼロの追求

従来の GC-MS（単一質量分析計）から、ガスクロマトグラフトリプル四重極質量分析計（GC-MS/MS）への刷新により、分析精度が飛躍的に向上しました。主要原料（大麦、玄米、大豆、キヌア等）で使用頻度の高い農薬について、一律基準である 0.01ppm 以下の定量確認（チウラム等では 0.001ppm）が可能となりました。機器の定量限界が基準を大幅に下回ることで、分析誤差による誤判定を確実に防ぎます。

2. 「加工時の濃縮」を見据えた絶対的な製品安全性の担保

穀物は搗精や乾燥などの加工工程において成分が濃縮されるケースがあります。極微量レベルでの残留農薬検出が可能になったことで、「原料段階」のみならず、濃縮リスクを考慮した「最終製品」としての確実な安全性を科学的に保証する体制を確立しました。

3. 多成分一斉スクリーニング検査による新規産地・新規原料の即時モニタリング

データベースが豊富な最新機器の導入により、分析可能な成分の種類が大幅に拡大しました。新規産地からの調達時や新規原料の受入時においても自社での迅速な多成分一斉分析（スクリーニング検査）が可能となりました。これにより、「外部委託では実現できない迅速な安全性確認」と「圃場から入荷に至るまでの多段的なモニタリング」による未知のリスクに対する監視体制が強化されました。

■ 今後の展望

はくばくは、これからも「穀物の持つ力で人々の健康と豊かな食生活を実現する」という理念のもと、業界最高水準の品質保証体制を維持・強化してまいります。今回の自社分析体制の確立により、多様化する産地・原料に対しても揺るぎない品質安定性を担保し、より一層安全で高品質な製品を国内外のお客様へ迅速にお届けすることで、穀物市場全体の信頼性向上を牽引してまいります。

■はくばくについて

はくばく
The Kokumotsu Company

社　　名　：　株式会社はくばく
所 在 地　：　〒409-3843
　　山梨県中央市西花輪 4629
代　　表　：　代表取締役社長　長澤 重俊
設　　立　：　昭和 16 年 4 月 15 日
資 本 金　：　98,000,000 円
事業内容　：　食品製造および販売
U　R　L　：　https://www.hakubaku.co.jp/

The Kokumotsu Company として

当社の社名「はくばく」は白い大麦という意味です。創業社長である祖父が「もっと麦ご飯を喜んで食べてもらいたい。」という思いから、大麦を一粒一粒半分に割って黒い筋を目立たなくした製品を開発しました。

以来、我々はくばくは穀物とともに歩み、精麦の他、雑穀、和麺、麦茶、穀粉、米を事業として手がけるようになりました。

人類を太古から支えてきた大切な「穀物」を、現代の食卓へもっと多く登場させ、もっと楽しんで食べてもらうこと。それは家族の笑顔が増えること。またそれは家族が健康になることだと考えています。これを実現するために、我々はくばくは主食であるごはんの「質」を見直す「主食改革」を、社員一丸となって本気で目指して参ります。

株式会社はくばく
代表取締役社長　長澤 重俊

本件に関する問い合わせ先
株式会社はくばく　広報担当：手塚　俊彦　　携帯：080-1005-2988　E-mail：pr@hakubaku.co.jp